

斜面でも洪水痕跡が計測できる量水標
階段用量水標

築堤天端から読取るタイプ

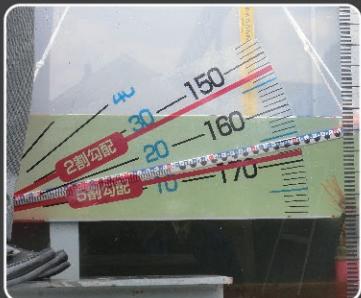
近年オートゲートの普及等により、河川維持管理の状況にも様々な対応が必要となります。

この量水標は、階段工に設置できる勾配対応階段工用量水標で、フロートを採用したメンテナンスフリータイプです。



維持管理のコストを大幅にカット
勾配にフロート計測を採用

階段用量水標の6つの特徴



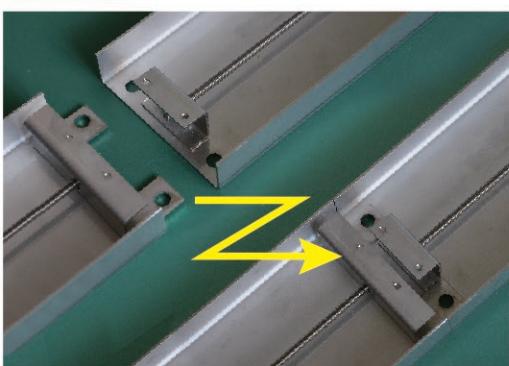
特徴 1

フロートが水位に追従して上昇し最高水位を示す位置で止まることで、水が引いた後でも洪水時の最高水位を正確に知ることができます。



特徴 3

階段用量水標本体の連結は、位置合わせがスムーズな構造になっており、作業性が高まりました。



特徴 2

外部の目盛表示とフロートを確認できる窓により、容易に最高水位の確認ができます。



特徴 4

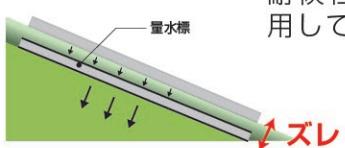
出水がない限りメンテナンス不要です。繰り返し何度も使用可能です。

特徴 5

様々な勾配(2~5割)にも対応可能です。

特徴 6

設置後、地盤沈下によりエレベーションに変化が生じた場合は、シート貼替えによる目盛調整で容易に対応できます。目盛部分には、降雨により綺麗な外観が持続する屋外耐候性シートを採用しています。



誤読が起きやすい勾配型量水標の問題点を改善した目盛です

10cm表記

メートル表記

5cm表記

1cm表記

●メートル表記

背景色:赤

10cm表記分

読取る方向



築堤側

川 側

旭エンジニアリング株式会社
グラフィックス事業部

3Mプリント認定店

〒004-0879 札幌市清田区平岡9条1丁目1番6号

TEL(011)883-8404 FAX(011)883-8419 <http://www.asahi-grp.co.jp>

Fix 株式会社フィックス

〒005-0014
札幌市南区真駒内幸町1丁目3番1号 NTT東日本真駒内ビル
TEL(011)883-8404 FAX(011)883-8419